東京YMCA国際ホテル専門学校
YMCAホテル学校　検索
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-18-12　TEL 03-3202-7480

〒164-0003 東京都中野区東中野3-15-14 TEL:03-3360-8231（代表）　日本ホテルスクール　検索

淑徳大学
経営学部
観光経営学科
体験型学習を通して観光経営の実践を学ぶ
よりビジネスとの連携を重視した教育へ！

淑徳大学　アドミッションセンター東京オフィス
〒174-0063 東京都板橋区前野町2-29-3
TEL：03-3966-7637
大学ホームページはこちらから

井の頭キャンパス
（保健学部・総合政策学部・外国語学部）
〒181-8612　東京都三鷹市下連雀 5-4-1
JR 吉祥寺駅・三鷹駅からバス 15 分、
京王線仙川駅からバス 20 分
www.kyorin-u.ac.jp
杏林大学
KYORIN UNIVERSITY
外国語学部
英語学科　中国語学科
観光交流文化学科
オンリーワンのプログラム
ウェルネス＝観光 × 医療
就職率 100%
2023年度外国語学部実績

Open Campus　2024年 7月20日 土　8月4日 日
事前に参加予約をしてください。お申込みはこちら
杏林大学
入学センター（井の頭キャンパス）　TEL.0422-47-0077（直通）
※オープンキャンパスのプログラムや最新情報は、本学のホームページでご確認ください。

大阪成蹊大学 国際観光学部 国際観光学科
国際観光コース・観光まちづくりコース・国際ビジネスコース
大阪成蹊大学 国際観光学部では、在学中に2度の留学とレベル別のカリキュラムで確かな英語力・グローバル教養を身につけます。めざす将来像に応じて選択できる3つのコース・カリキュラムを用意し、それぞれの関心・問題意識を持つ学生たちがともに学び合い、地域から世界へと視野を広げながら成長することができるカリキュラムを編成しています。
大阪成蹊大学 国際観光学部 特設サイトはこちら
OPEN CAMPUS 2024
国際観光学部
特別プログラム
7/14 日　旅行、観光分野に関心のある方必見！
夢の仕事を実現！
JTBが語る旅行の裏側と未来のキャリア

7/21 日　航空業界に興味のある方必見！
空港で働く夢を実現！
ANA関西空港のスタッフとリアルに語ろう

8/3 土　ブライダル、ホテル分野に興味のある方必見！
夢の仕事を実現！
外資系高級ホテルが語るホテルの魅力とキャリア

8/4 日　今、世界が注目する大阪で学びたい高校生必見！
観光から大阪を知ろう！
在学生による大学の授業の事例を紹介

オープンキャンパス開催時間　10:00 - 15:00(9:15受付開始)
秋・冬期開催予定　9月16日(月・祝)・10月13日(日)　10月14日(月)・12月15日(日)
大阪成蹊大学
OSAKA SEIKEI UNIVERSITY
アクセス
阪急大阪梅田駅より約14分
阪急京都線相川駅 東改札口を出て徒歩約5分
〒533-0007
大阪市東淀川区相川 3-10-62
相川キャンパス［広報統括本部］
TEL：06-6829-2554
オープンキャンパス事前申込はこちら

東京YMCA国際ホテル専門学校

日本初のホテル専門学校

東京YMCA国際ホテル専門学校（東京都新宿区）は、今年で89年を迎えた日本初のホテル専門学校だ。

卒業生は総支配人からサービススタッフ、また旅館の後継者、経営者まであらゆる立場で活躍し、ホテル・旅館業界を担っている。1972年に始まった1年制の「ホテル専攻科」が2017年度に「ホテル旅館経営学科」にリニューアルした。「ホテル・旅館の後継者・経営者育成の環境強化が主な目的」と同校。

カリキュラムはマネジメント、マーケティング、アカウンティングを基盤とし、管理理論と実務に特化した講義をラインアップ。実践的マネジメントを中心に幅広い知識、実務を身に付ける。

特別授業では、宿泊産業に特化したビジネススクール「宿屋大学」が主催する講座に参加し、日本の宿泊産業をけん引する著名なキーパーソンの講師や受講者とのつながりが生まれ、人脈づくりにも役立っている。

対して2年制の「ホテル科」はおもてなしのプロを追求している点が特徴で、ホテルでの授業で実践スキルを磨き、6カ月間のホテル実習で自身の可能性を広げるという。

ホテル旅館経営学科の授業風景

専門学校日本ホテルスクール

礼節を重んずる人間を育成

学校法人日本ホテル学院が運営する専門学校日本ホテルスクール（東京都中野区）は、日本で唯一ホテルが作った学校で、今年設立から53年を迎えた。同校の教育理念は、「礼と節を重んずる人間の育成」「理論と実技の一体化によるサービスの創造」―など。

卒業生はホテル・ブライダル・レストラン業界で幅広く活躍し、日本のサービス業の一翼を担っている。今年3月の卒業生の就職状況は、日本全国のホテル・旅館などに採用され、就職希望者全員の進路が確定した。「業界が抱える慢性的な人材不足と同時に、コロナ禍で採用活動を停止した施設の求人ニーズが高まったことも一因」という。

同校の教育システムは、欧米のホテル学校を例とし、さらに国内の学校形態をも配慮。独自の教育体系を形成している。ホテル業界の現業部門での技能と知識を習得するべく、サービスから経営までの一貫した教育が特徴。

開校以降、「産学連携」を軸として教育カリキュラムを組み立て、ホテル・ブライダルを中心に、企業と連携した実践教育を行う。当初から企業実習（インターンシップ）を導入した独自の教育プログラムにより、現場で活躍できるホテリエを育てきた。「現場で活躍できる人材を育てるには、理論と実技を一体化させることが重要」と同校。

昨年8月に竣工した新校舎「宴会場」

また、今年4月からは、昨今のSNSプロモーションなどが重要視されていることを契機に、「表現して伝える力」を持った次世代のホテリエの育成を目指す「ホテルSNSコミュニケーション科（昼間部）」を新設。ホテルのサービス全般に加えて、独自のカリキュラムとしてSNSのオペレーションやマーケティングを設けて、「コミュニケーションツールをホテルのマーケティングや広報に生かす力を養うことが目標」と話す。

ほかにも、昨年8月には、教育に求められている機能と学びの空間を兼ね備えた新校舎が竣工、さらなる教育環境の拡充を図っている。

淑徳大学

実践の学びから経営人材へ

淑徳大学（1965年開学）経営学部（経営学科、観光経営学科）は昨年4月、東京キャンパス（東京都板橋区）へ移転し、新たなスタートを切った。今年3月には、同キャンパス内に新校舎が完成し、学びの環境がさらに充実しつつある。

観光経営学科における学びは、建学の精神である「利他共生」に基づく実学教育を基盤としており、以下の2点を重視している。

第1に、経営学を基盤として観光学を学ぶことにより、観光産業におけるマネジメント人材の育成に注力している点があげられる。マーケティングやデータサイエンス、簿記・会計などの経営学分野と、観光ビジネスや観光地計画など観光学分野の基礎を同時に、かつ早期に修得することで、経営環境が激変するなかでの事業展開について多様な視点で検討し、理解を深めていく。

第2に、ゼミや専門科目を通じて実践的な体験学修の機会を設けている点だ。観光ビジネスや観光地の現場におけるフィールドワークを通じて、観光を実践的に学ぶことができるプログラムを用意する。なかでも観光ビジネスについては、旅行、鉄道、航空、ホテル、ブライダル、レジャー施設の経営戦略を専門とする教員が指導にあたり、産学連携プログラムを展開するなどより実践的な学びに結びつけている。このほか、大手旅行会社や観光関連団体のトップを客員教授に迎え、経営層から直接学ぶ機会を設けることで、観光マネジメント人材の育成に向け体制強化を図っている。

実践的な学びに注力

先輩学生がグループワークやディスカッション主体の講義を主導し、チームワークやリーダーシップについて実践的に学ぶ「SLDP」（淑徳リーダーシッププログラム）も、特色ある学びの一つ。連携する大手旅行会社の中堅社員が講義に参画し、アドバイスを受けながらビジネスプランの提案に挑むなど、専門科目の学びに加え、社会人にとって必要なコミュニケーション能力や課題解決能力を養う機会が用意され、学生の満足度も高い。

卒業生の就職先は、ホテルや旅行などの観光産業をはじめ、金融、不動産、小売りなど幅広く、今後も、実践的な学びで鍛えられたマネジメント人材の輩出に注力する構えだ。

杏林大学

観光プロフェッショナルに

杏林大学（東京都三鷹市）は、外国語学部、総合政策学部、保健学部、医学部の4学部15学科を有する医療系総合大学。「井の頭恩賜公園」「三鷹の森ジブリ美術館」に ほど近い「井の頭キャンパス」の「外国語学部観光交流文化学科」で観光を学ぶことができる。

学科の定員は1学年92名。都心に近く自然にも恵まれた文化的ロケーションの下、少人数制による丁寧な観光教育を行っている。

観光学が専門の古本泰之教授は同学科の特長について次のように話す。

「外国語学部には英語学科、中国語学科という語学専門の学科に加え、観光交流文化学科があります。観光交流文化学科の学生も英語に加えて中国語を学びます。外国語運用能力とホスピタリティ・コミュニケーション能力を養い、幅広い分野で活躍できる観光プロフェッショナルを目指した実践的専門プログラムを展開しています」。2023年の海外留学・研修実績は、参加者数が105人で、派遣先教育機関が12カ国・地域の40校。外国語学部の強みが生かされている。

温泉観光学が専門の小堀貴亮教授は、保健学部と連携した「杏林型ウェルネスツーリズム」を提唱し、授業の一環としても実践している。静岡県東伊豆町、愛知県田原市、長野県千曲市などの地域と連携。理学療法学の視点から温泉地のバリアフリー化や、温泉地のアクティビティがもたらす運動効果の実証活動を行っている。「温泉地は衛生管理が大切。医学・保健学的知識は欠かせません。衛生管理や感染症の感染防止など、医療×観光を学ぶ授業があるのも杏林のオンリーワンのカリキュラムです」（小堀教授）。

小堀教授

23年度外国語学部の就職率は100%。学部の全教員が一人一人の学生を卒業までサポートするアドバイザー（担任）制度の成果が出ている。JAL、ANA、JR東日本、JTB、日本旅行、近畿日本ツーリストグループ、帝国ホテル、京王プラザホテル、星野リゾート、オリエンタルランドなど日本の観光業を支える企業に就職している。

大阪成蹊大学

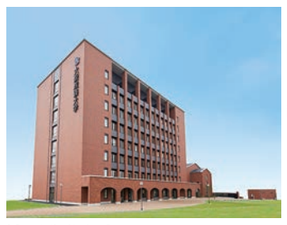
手厚い指導で大きく成長

大阪成蹊大学（大阪府大阪市）は、大阪万博を3年後に控えた1967年に観光教育をスタートさせて以降、57年にわたり観光人材を輩出してきた関西の観光系大学の古豪だ。その同大学は2022年、国際観光、観光まちづくり、国際ビジネスの3コースを備えた国際観光学部を開設した。

地域でのフィールドワークや、ANA総合研究所やJTBとの連携授業など実践的な授業が特長だが、グローバル人材としての素養を身に付けるための充実した英語プログラムと、学生一人一人へのきめ細かな指導も行っている。

このうち4年間で2回チャレンジできる「STEP留学」では、1年次で1～3週間の短期海外研修、3年次で4～8カ月の長期海外留学プログラムを用意している。いずれも希望者全員が参加できるのが魅力だ。在学生の英語力は専門知識と共に高く評価されており、関西の観光系大学による研究成果発表では、兵庫・三田市のインバウンド向け英語リーフレットの提案などで、22、23年度と2年連続で最高賞を受けた。

きめ細かな指導体制は、学生の成長を後押しする。学生一人一人にアドバイザー役の教員が付き、年1回の面談を通して状況を把握。卒業研究はもちろん、就職までフォロー。さらに学部の教員全員で、各学生の履修状況や指導方針などの情報を定期的に共有、総合的にサポートする。手厚い指導で大きく成長した学生の評価は高く、就職率はほぼ100%。卒業生の進路は、航空、旅行、ホテルをはじめ、銀行、証券等の金融、公務員、小売、メーカー、大学院進学など多岐にわたる。


12月7、8日に日本最大級の観光系学会「日本観光研究学会」の全国大会が開催される、23年新設の駅前キャンパス

学部完成年度となる25年度は、大阪・関西万博に、自発的にボランティア登録を行ったり、万博を見据えた郊外型観光資源の開発などに取り組んだりしており、活躍が期待される。今年12月には同大学で、大阪では10年ぶりに日本観光研究学会の全国大会が開催される。今後ますます注目が集まりそうだ。